

清澤列（著） 評論家、外交史家。明治二十二年一月八日長野縣生れ、

昭和二十年五月二十一日歿（八五—九五）。筆名ケイ生、一乘客、一

市民、一記者、信濃太郎、信濃生、八面棒、太郎生、安曇生、有明生、

清川澤次、清澤生、清生、徳高生、鶴見往男、ト生、トト生等。井口

喜源治の研成義塾、等び、明治二十九年アメリカに渡る。邦字新聞記

者等を経て大正七年歸國。『中外商業新報』記者となり、のち『東京

朝日新聞』に轉じ昭和四年退社。爾後評論家生活。

著書『米國の研究』（大正十四年十一月十五日日本評論社）、『モダ

ンガー』（大正十五年十一月二十日金星堂）、『旋風』（合作、大

正十五年十一月二十八日東京朝日新聞發行所）、『近代戀愛術』（合

著・新青年編輯部編、昭和四年七月二十一日博文館「新青年叢書」）、

『アメリカを裸體公す』（昭和五年十一月一日千倉書房）、『現代日

本論』（昭和十年六月十四日千倉書房）、『自由主義とは何か』（合

著・東洋經濟新報社編、昭和十一年五月二十一日東洋經濟新報社）、

『現代世界通信』（昭和十二年十一月二十日中央公論社）、『第一次

歐洲大戰の研究』（昭和十五年四月二十日東洋經濟出版部）、『民族

外交の類』（合著・竹内夏積編、昭和十五年七月十五日岡倉書房）、

『外交史』（昭和十六年六月二十一日東洋經濟新報社出版部「現代日

本文明史」）、『外政家としての大久保利通』（昭和十七年五月十日

中央公論社「國民學術協會叢書」）、『暗黒日記』（梅田博編、昭和

十九年八月十五日、普及版・九月二十日東洋經濟新報社）、『暗黒

日記』（橋川文二編集・解説、昭和二十年九月二十日評論社「復初文

庫」）等。

文獻、北岡伸一著『清沢湖―白米磨粉への洞察』(研社)二十一年一月

二十五年中央公論社「中央新書」等。